



地形・地質

名寄盆地は天塩川の上流部に位置し、盆地内は周辺山地から張り出した標高 250m 以下の丘陵地と天塩川に沿って発達する標高 70~80m の沖積低地に区分されます。

地下水

主要な帯水層は、多寄層を含む第四紀の未固結堆積物です。盆地内には約 400 井の農業用井戸があり、農家の雑用水源として広く利用されています。

土別地域の地層層序

時 代	地層名 (層厚 m)	岩 質		
第 四 紀	完新世	沖 積 層	砂, 礫, 粘土, 泥炭	
	更 新 世	段丘堆積物	砂, 礫, 粘土	
		風 連 層	10+	粘土, 砂質粘土, 砂礫
		多 寄 層	30+	礫, 砂, 粗粒砂
新 第 三 紀	鮮 新 世	安山岩溶岩	安山岩, 火山角礫岩	
		川 西 層	150+	砂岩, 礫岩, 泥岩, 凝灰岩
	中 新 世	美 深 層	凝灰岩, 砂岩, シルト岩, 火山角礫岩, 安山岩ほか	
先新第三紀	上部エゾ層群 中部エゾ層群 日高累層群	砂岩, 頁岩, 粘板岩, 輝緑凝灰岩ほか		

